

群青の風

発行所 峰短大
長賀市 医療技術
平賀市 岐阜
市 同窓会
関市 同窓会
岐阜 同窓会

☎(0575)22-9401

会長あいさつ

国R三回生

増田 豊

〈同窓会長返り咲き〉

私事ではありますが、二年間ブランクのあと、会長に返り咲きと相成りました。前会長森氏に於いては、就任時より私が勤務している県立多治見病院に赴任し、なにかと同窓会の行事の相談をしてまいりました。もうじき創立三〇周年を迎えることになりましたが、卒業生の中でも同生の浅い皆さんは、都道府県レベルの各々の技師会等で役割を担っておりますが、御託にもれなく私も常任理事を委嘱されました。当の本人としてみ

れば金にもならない仕事ですが、またひとつ増えてしまいましたが、本同窓生よりでたとすれば話もまた別と考える次第です。

おかげさまで同窓会員も五〇〇〇を超えるに至り、会報の製作・発刊もかなりの経費をあてなければなりません。経費削減のためホームページの運用を考えております。パソコンの普及率が一人一台の時代になりつつあります。インターネットを結んでいる会員の割合を確認しながら、ホームページ開設を短大のそれとドッキングして行えたら双方の情報がえられると思います。

ところで私も含め、専修学校の者は学士の道はなかなか厳しいものがあります。短大

に於いても編入・進学の道はまだまだ条件が付き物です。一層のこと本学も時代に乗り遅れることなく、四大へ移行することを望むわけですが、同窓会も本学に対してプレッシャーを与えなければなりません。ややもすると、本学は淘汰されるのを指を咥えてみているだけになります。皆さんの勉学に対する熱い思いをこれからの本学運営に参画できるように働きかけていきたいとおもいますので、皆さん絶大なる協力をお願いして、ペンを一先ずおきます。

M国一回生同窓会

大橋 高志

二〇〇〇年六月二十四日PM

五時三〇分より岐阜市『さくら』にて、三宅先生を御迎えし、国際医学総合技術学院一回生の同窓会を開催しました。今回は二〇〇〇年ミレニアム記念と銘をうち、東は東京・西は京都と各地から集まり、

三宅先生の『乾杯』の音頭でにぎやかに宴が始まり、皆タイムカプセルで学生時代に戻って、あちこちで話に花が咲き中には二十三年ぶりに再会したと云う人もあり、久々の旧交を暖めていただけたものと思います。

最後に万歳三唱でお開きとなり、再会を約し、二次会へ散会となりました。



R国九回生

岐阜県立多治見病院

近松 薫

平成十二年五月二十一日(日)にグリーンヒル関ゴルフ倶楽部において、第四回国際R九

の同窓会ゴルフコンペを行いました。

参加者は、一二名ですべて愛知、岐阜、三重在住者でゴルフを通じて横のつながりを保っています。今後もこの会を毎年行っていきたいと思っています。

平成十三年度は、三重県にて五月二十日(日)行う予定となっておりますので、参加したい方は次回幹事の棚橋一友さん(三重県桑名市 平田循環器病院)

Tel 0594-22-0650(一)連絡ください。たくさんのご参加をお待ちしています。



短M2同窓会

市原 時正

二十世紀も残りわずかとなった二〇〇〇年十二月三日(日)岐阜医療技術短期大学二M二の同窓会を名古屋で行った。

五九名に案内を送付し、五三名からの返事をもたらった。この回収率九〇%は大変満足行く数字であった。また、参加者は二〇名でありこの数字も満足行くものであった。

同窓会は約十年ぶりであり、会っても誰か分るのか、うまく話ができるのであろうかなど心配していたが、集まってみれば昨日まで机を並べていたかのように自然に話せ、打ち解けあうことができた。これも三年間を同じ目標のために互いに苦しみ助け合い過ごしてきた者たちならではのことであり、卒業後も同じ医療界の中で使命を果たそうと努力してきた者だからこそではないかと感じた。但し毛髪と体型は不幸な状

態になっている者もあり、それについては時間の経過をかんじずにはいられなかった。今回はまた数年後になるころと思われるが、その時胸を張って仕事や家庭について話ができるようお互い努力しようとして誓って解散した。



第七回同門会を終え

発起人代表

国R2 津田 康弘

母校創立二十五周年を過ぎ、国際医学総合技術学院・岐阜医療技術短期大学同門会の会員数が約六〇名となり、同じ学校を卒業した者同志、年に

一度集まり職場のことや学生時代のことを気兼ねなく話し合おうと設立された『同門会』が七回目を迎えました。当初は滋賀県の出身者を対象に発足した大会が京都府に広がり、今回は静岡県からも出席してくれた同門者がいて大変喜んでおります。

昨春秋、第六回同門会は小野木満照先生をお招きし、『母校の変貌と近況』をご講演していただき、早一年が過ぎました。

今回、平成十二年十二月九日にホテルポストンプラザ草津にて開催。内容としては例年どおり特別講演終了後懇親会という企画にて行いました。

特別講演は、岐阜医療技術短期大学・診療放射線技術科を平成三年卒業の門前一君に講演を依頼し、平成十二年十一月韓国で開催された国際放射線防護学会で発表された「乳酸菌の放射線防護効果」について、韓国のお土産話も含め一時間ほど話をしてもらいました。講師の門前君は大

津赤十字病院に就職後、平成九年に第一種放射線取扱主任者を取得、さらに平成十年保健衛生学学士をも取得、現在は鈴鹿医療科学大学大学院にて医療画像情報学修士課程を専攻されており平成十三年春卒業予定の彼は、職場と学業そして家庭を両立(三立)させている努力家であり、彼の講演を聴き刺激を受けた会員も多く、日ごろの職場の忙しさにかまけ、新事にチャレンジしてこなかった事を痛感しました。

懇親会では、講師の学士への苦労話やいろいろな情報交換をし、学生時代の楽しかった事や苦しかった事・職場や家庭事に話が弾み時間の経つのも忘れ、有意義な一時を過ごす事が出来ました。

終りに、これからも同門会が末長く続けられますように、多く参加をお願いしお開きとしました。

追伸
同門者、飛び入り参加歓迎致します。

追伸
同門者、飛び入り参加歓迎致します。



講演会場



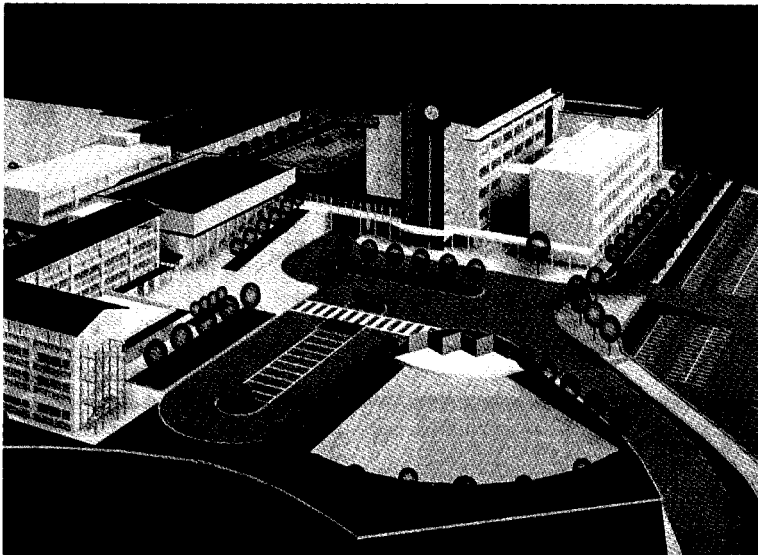
懇親会会場

岐阜医療技術短期大学トピックス

二十一世紀に向けて新棟建設へ

本学では、二十一世紀に向けて今夏より新棟の建設がいよいよ始まり、翌年に完成をみることになる。
 その一つが、衛生技術学科棟と本館の全機能と二専攻科の機能が合体した棟である。

もうひとつは六〇〇名収容の大講堂で、通常は二つの合同教室として利用されるが、卒入学式・講演会などのイベントにも対応できる機能を持つ。



各学科国家試験の結果について

臨床検査技師・診療放射線技師・看護師・保健士・助産婦の国家試験の結果は次の通りです。

学 科 名	平成11年度	平成12年度	平成13年度
衛生技術学科	89.2 (75.0)	88.0 (69.4)	84.7 (68.0)
診療放射線技術学科	92.5 (81.2)	87.5 (72.1)	92.0 (74.7)
看護学科	100 (96.4)	91.5 (84.1)	98.5 (84.3)
専攻科地域看護学専攻	100 (90.7)	100 (93.0)	100 (83.5)
専攻科助産学専攻	90.5 (96.5)	95.0 (93.4)	90.0 (88.3)

*数字はいずれも本学合格率(全国合格率)を表す。単位はすべて%

平成一二年度

二五年表彰

三宅 正美(M科)

十五年表彰

大塚 幸夫(入試広報課係長)

採用

吉田 貴博(R科)
 大場 洋子(事務)

1/1

新役員紹介

(平成一二・一三年度)

会長 増田 豊(国R3)

副会長 伊東 明宏(国M9)

近松 薫(国R9)

山田 功 助教授(R)

藤井 輝明 助教授(N)

酒向 俊行(短R13)

古田 美和(短M11)

上平 公子(短N2)

上田 広美(短N1)

武藤 延秋(短M2)

市原とも子(国M5)

堀 ちづる(短N1)

佐伯 浩和(国M10)

奥田 大輔(短R12)

笹野 陽子(短N1)

晴雄(国M6)

昇格

加藤 直子 N科講師

藤井 憲子

藤田 良政 事務局長

大塚 幸夫 入試広報課係長

成田 喜昭 会計課係長

編集委員長 森

平成11年度同窓会会計報告

	項目	平成11年度予算 (円)	会計決算 (円)
収入の部	繰越金	463,278	463,278
	会費	2,670,000	2,670,000
	雑収入	1,000	0
	寄付金	5,000	3,550
	定期貯金	9,724,250	10,000,000
	普通貯金	1,000,000	3,320,321
	利子	30,000	1,965
合計	13,893,528	16,459,114	
支出の部	活動費	400,000	495,530
	会議費	100,000	26,293
	交通費	100,000	86,416
	慶弔費	30,000	0
	通信費	400,000	420,630
	備品費	20,000	7,026
	消耗品費	5,000	0
	助成費	500,000	5,500
	特別費	4,500,000	0
	渉外費	10,000	0
	定期貯金	7,500,000	10,000,000
	普通貯金	320,000	4,511,598
	繰越金	8,528	6,121
	その他	0	0
合計	13,893,528	16,459,114	

平成13・14年度に開催された同窓会

国M1同窓会

岡田 誠司

9月14日岐阜若宮町の割烹かとうに於いて午後6時より三宅先生をお迎えして、総勢15名で第一回卒業生二クラス合同のクラス会を行いました。この日は、三連休の初日ということが集まり具合を心配しましたが、東京・大阪・甲府など遠方からの参加者にはかえって好都合のようでした。

開会にあたり三宅先生からクラス会招待のお礼と我々に激励のお話をいただきました。過分なご祝儀も頂きました。そして、幹事の乾杯の音頭で開宴した。

美味しい料理や地酒を頂きながらもつばら思ひ出話に花を咲かせました。

参加者の多くは検査室でも責任ある立場になっており、何時か話題も医療も取り巻く

厳しい話題になり色々情報交換をしましたが、精神的にも肉体的にも健康で過ごし何年か先にも元気で再会する約束をしあつという間の二時間を終えた。最後に万歳を三唱して楽しかった一次会を終えた。



二次会は、たまたま来岐中の歌手原田真二さんと同席することができ岐阜で行われるコンサートの話題などで時の過ぎるのを忘れ楽しい時間を過ごしました。



『西谷勉君を偲ぶ会』

国M四回生三組同窓会

前田 晃

平成十四年六月一日、関市東福野の兼康にて第二回同窓会を行いました。

昨年四月、前回広島での同窓会を開催してくれた西谷君の突然の訃報に言葉を失い、葬儀には三組代表として地元佐々木君、世良君に参列をお願いしました。秋にはお墓参りをさせていただき、同行した有志と相談し、平成十六

年の予定を早め開催することにしました。

急な呼びかけでしたが遠くは釧路・栃木・宮崎から、都合により参加できなかった人からは、電報や多数のメッセージが届きました。

同窓会は黙禱をささげ彼のご冥福をお祈りし、二十数年前の卒業旅行などの懐かしい写真を見て皆学生時代の三年間を想い出していました。

二次会はホテルの部屋に場所を移し、各地の地酒や名産を持ち寄り行いました。職場や家庭、今後の医療情勢への不安など悩みは尽きないようです。また、「一度は長良川の



鵜飼が見たい」との声があがり、岐阜市在住の酒井君と榎原君が幹事を引き受けてくれました。

美濃加茂で一泊し、次の日は勝手（不法侵入？）に短大に入り見学させてもらい二年後の再会を約束し関市を後にしました。

次回は「屋形船で宴会！」だそうです。

第八回同門会

平成十三年十二月十五日、ポストンプラザ草津（草津市）で開催した。出席者19名。

